

## 4. ご存知ですか「新しいタイプの都立高校」

高校への進学を考えている生徒の皆さんの中には、「自分で時間割を作っているんな勉強をしてみたい」、「もともと商業系の科目に興味があるけれど、将来は進学を目指したい」、「自分のペースで昼間から学べる定時制高校があればいい」などいろいろな進路希望をもっている人はいませんか。

都教育委員会は、皆さんの様々な学習希望や進路希望をかなえることができるよう、新しいタイプの都立高校を、これからも地域の身近な所に数多く設置していきます。

生徒「都立の新しいタイプの学校には、どんな学校がありますか？」

先生「総合学科高校、科学技術高校、チャレンジスクールが代表例かな。まだ数が少ないけれど、これから中高一貫教育校といって6年間継続して学べる学校、単位制高校とか、専門高校にも産業高校（仮称）といった、これまでにないユニークな学校が、身近な所に数多くできることになっているよ」

生徒「学校の特色をくわしく知りたいのですが？」

先生「次のページから、いろいろなタイプの学校が紹介されているから見てごらん」

生徒「いろいろあって迷ってしまうけれど、つまり、たくさんの都立高校の中から、自分にあった学校探しができるようになったんですね」

先生「そういうことだね」



### 都立高校が私の根幹を作った

今、振り返っても断言できる。  
私は都立高校時代が一番楽しかった。  
都立高校で過ごした日々が、現在の私の根幹を作っている。  
十六歳から十八歳までの三年間、毎日がこんなに面白くていいんだろうかと、本気で思っていた。  
色々な家庭環境の生徒がいた。  
色々な経済状態の生徒がいた。  
教師は決して、私たちの歩く道を安全に平らに整備しようとはしなかった。

私たちは泣いたり助け合ったりしながら、自分でその道を越えていくしかなかった。  
その道程で私たちはたくさんの感情を覚えた。恨みもねたみも、感謝も愛情も。  
教師は鍛えてくれたのだと、今にして思う。  
今、あの頃のクラスメートと年老いた教師とお酒を飲みながら、私たちは口々に言う。  
「都立高校に入ってよかったよなア」と、口々に言う。

教育委員 内館 牧子